

市内小・中学校トイレ洋式化事業完了について

1 トイレ洋式化工事の完了について

市では、児童生徒の生活環境の向上と、防災機能強化のため、平成26年度から、市内小・中学校の校舎、体育館のトイレ洋式化工事を実施してきた。今年度2校を施工したことで、洋式化率75%以上の目標を達成し、全ての学校の整備(小学校9校・中学校3校)が完了した。市内の小中学校は避難所として指定されており、災害時に校舎、体育館を開放するため、市民の方が利用する際の衛生面も改善された。

避難訓練において、洋式化したことを説明し、児童と保護者のみならず、周辺住民へ避難施設としての周知もできた。

2 施工実績

洋式個数 平成25年度211基→平成29年度435基
洋式化率 平成25年度37.7%→平成29年度77.7%
事業費 40,693千円
交付金額 8,000千円

3 市内小・中学校トイレ洋式化関係内訳

①平成26年度

菅山小学校体育館4箇所・校舎10箇所 (防災対策事業交付金)
川崎小学校校舎27箇所 8,881千円(2,000千円)

②平成27年度

相良中学校体育館6箇所・校舎26箇所
勝間田小学校校舎9箇所 9,860千円(2,000千円)
(榛原中学校校舎32箇所大規模改修で整備)

③平成28年度

地頭方小学校校舎18箇所
細江小学校校舎19箇所
坂部小学校校舎6箇所 11,044千円(2,000千円)
(榛原中学校校舎20箇所大規模改修で整備)

④平成29年度

相良小学校校舎27箇所
牧之原小学校校舎15箇所 10,908千円(2,000千円)

40,693千円(8,000千円)

◆牧之原中学校と萩間小学校についてはH26以前に整備済